

2021.02.17 教員基礎演習 I 授業見学

社会福祉学部 講師
修士（経済学） 西山祐司

教員基礎演習 I の授業において、見学者としての立場での感想を述べたいと思います。

冒頭で、中島総長先生から 10 分ほど時間を取ることで、前回実施したのときの暗記の時間を取るようご指示がありました。問題だけ解こうと思ったらなかなか全問解くことは難しいが、試験問題はパターン化されているため、問題を読んで答えを確認するという方法で完全に暗記することによって必ず満点取れる、というものでした。

このご指示には、講師は完全に暗記させるところに力を注がなければならないという意図が込められていると感じたため、知識系・暗記系の科目を担当する際には、しっかりと頭に入れて講義を实践すべき課題と感じた次第です。

今回は、2/10（水）に行われたにご担当された橋本琢先生の 2 回目の見学ということで、中島総長先生からご指導を受けて、どのように授業が改善されたかについても興味深く拝見しておりました。

前回と同様に文学史ということもあり、難解な読み方の人物や作品名など、学生が読み方すらわからない場面が多く見られましたが、橋本先生が学生に読ませる前に丁寧に読み方を先生ご自身で音読し、読み方を共有画面に記載するなど工夫することで、授業が非常にスムーズに展開するようになり、講義中盤では、中島総長先生からも具体的な覚え方などご指導いただくことで、細かい部分についてもきちんと目を配って授業を進めていくことができておりました。

気になった点としては、前回同様、カメラがオンになっていない学生が大半であった点でした。冒頭で橋本先生から講義に入室できなかった学生もいたとのことで、カメラをオンにしていると Zoom に問題が生じるのかもしれませんが、今後参加者の多い講義になった場合の問題点として頭に入れておく必要がある部分でした。

最後に中島総長先生から学生に対して、暗記が勝負だというメッセージがあり、改めて暗記することの重要性をご指導いただきました。単純な暗記ではなく、問題と答えの両方を見てしっかり暗記することで、今回の講義でもほとんど全員が満点を取ることができたように、ご指導いただいた中島総長先生の指導方針の実践ができるよう心掛けていきたいです。